



環境経営レポート

(対象期間:2023.4~2024.3)

発行日：2024 年 4 月 30 日
株式会社パブリックビジネスジャパン

第十版

目 次

1. 組織の概要
2. 環境経営方針
3. 実施体制図
4. 環境経営目標及び環境実績
5. 環境経営計画及びその取組結果と評価・次年度の取り組み
6. 指定管理施設での取り組み
7. 研修計画・実施記録
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直し結果

1. 組織の概要

(1) 事業所名

株式会社パブリックビジネスジャパン

代表取締役 萩原 宣

(2) 所在地

本社 熊本県熊本市南区江越1丁目14-10

※下記オフィスは間借り/賃貸で駐在なしのため、EA21登録の対象としていない

東京オフィス 東京都新宿区新宿5-12-5

福岡オフィス 福岡県福津市宮司浜3丁目29-10-203

遠賀オフィス 福岡県遠賀郡遠賀町遠賀川1丁目1番2号

壱岐オフィス 長崎県壱岐市郷ノ浦町郷ノ浦190-6-201

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者

責任者 取締役 河崎 一衣 TEL:096-237-7266

担当者 業務管理部 中山 栄司 FAX:096-237-7068

総務部 松山 綾奈

(4) 従業員数 212名(指定管理施設含む)

《事業年度》 期首4月～期末3月

(5) EA21認証・登録の対象範囲

指定管理者業務、指定管理者コンサルティング業務、モニタリング代行、公募要項・仕様書作成コンサルティング業務、基本協定書作成コンサルティング業務、健康推進事業、イベント企画

《対象範囲外》

自治体からの指定管理施設であるため。

① 熊本市夢もやい館	② 熊本市東部交流センター
③ くまもと森都心プラザ	④ 熊本市戸島ふれあい広場
⑤ 熊本市富合老人福祉センター	⑥ 熊本市城南老人福祉センター
⑦ 熊本市立城南図書館・熊本市城南児童館	⑧ 東部はつらつ交流会館
⑨ 熊本市南部万年青会館	⑩ 熊本市森林学習館
⑪ お達者文化会館	⑫ 益城町文化会館
⑬ 武蔵塚駅前自転車駐車場	⑭ 熊本市東部在宅福祉センター・東老人福祉センター
⑮ 福津市複合文化センター	⑯ 熊本市西部交流センター
⑰ 一支国博物館	⑱ 熊本市東部堆肥センター
⑲ 熊本市白川公園内複合施設	⑳ 熊本市営墓地(7ヵ所)・納骨堂
㉑ おながみらいテラス	㉒ 山都町運動公園(2024.4～)

管理・運営件数 20 協定 47 施設(令和6年4月現在)

その他特記事項

上記施設はそれぞれが、『エコオフィス活動点検票』として水道光熱量及び廃棄物量を毎月～4半期毎に熊本市及び設置自治体へ提出しています。

提供業務

- 指定管理者業務(PPP業務全般)
- 各種公共サービス代行業務受託
- 市場調査分析業務
- 公募提案書作成コンサルティング
- 短期集中予防サービス事業
- 健康増進事業
- 各種教室(ヨガ、ウォーキング、ピラティス)
- 指定管理者コンサルティング業務
- 公共施設指定管理業務制度設計
- モニタリング代行・公募要項・仕様書作成コンサルティング
- 広告制作・広告代理業務・ホームページ制作
- 公共施設運営アドバイザー業務(コンサルタント)
- 各種イベント企画運営(イベントプランナー)
- 特定保健指導業務

主な資格者

- 中小企業診断士 … 3名
 - 健康運動指導士 … 6名
 - 図書館司書 … 25名
 - 防火管理者 … 22名
 - 熱中症対策アドバイザー … 80名
 - 個人情報保護士 … 3名
 - 保育士・幼稚園教諭 … 32名
 - 公共施設マネジャー … 13名
 - 学芸員 … 4名
 - 社会保険労務士 … 1名
 - 介護予防指導士 … 7名
- ほか

会社概要

名称	株式会社パブリックビジネスジャパン	
本社所在地	熊本県熊本市南区江越1丁目14-10-2F	
営業拠点	(東京office) 東京都世田谷区代沢4-16-17-102 (福岡office) 福岡県福津市宮司浜3-29-10-203 (苓岐office) 長崎県苓岐市郷ノ浦町郷ノ浦190-6-201 (遠賀office) 福岡県遠賀郡遠賀町遠賀川1-1-2	
代表者	萩原宣(Noburu Hagiwara) (一社)指定管理者協会理事	
設立	平成16年12月27日	
資本金	19,200,000円	
顧問弁護士	弁護士法人観音坂法律事務所 原 啓章	
登録認証等	エコアクション21(認証番号0010796) プライバシーマーク(18860196) よかボス企業登録/SDG's登録事業者	
加盟団体等	一般社団法人指定管理者協会 公益財団法人日本体育施設協会 産学連携機構 九州PPPセンター 熊本市がん対策企業等連携協定 熊本市人権啓発市民協議会	熊本市事業所グリーン宣言 エコアクション21 熊本県子育て従業員応援団 日本介護予防協会 くまもとDX推進コンソーシアム

2. 環境経営方針

< 環境経営方針 >

株式会社パブリックビジネスジャパンは、指定管理者制度による公共施設の管理運営を通じ、行政・利用者・地域との信頼関係を築き、さらなる住民サービス向上を目指しております。公共施設運営をはじめとする事業活動から生じる環境負荷を低減するため、社員一人ひとりが新発想による業務の根本的な見直しを図り、環境保全・資源保護に配慮した循環型社会の構築に向け、環境経営の継続的改善に取り組みます。

1. 省資源・省エネルギー・リサイクル活動の推進

水使用量および二酸化炭素の排出量の削減に努め、廃棄物の削減並びにリサイクルの推進によって、環境汚染の予防に努めます。

2. 環境配慮に対する取り組み

循環型社会の構築に貢献するため、環境保全、資源保護に配慮したグリーン調達（購入）を図ります。

3. 管理運営施設の啓発推進

施設職員の環境意識を向上し、市民利用者へのサービス向上に努めます。

4. 環境関連法規等の遵守

国、地方自治体の環境関連法令、条例・規則等を遵守します。

5. 環境経営方針の周知と公開

この環境経営方針は全社員に周知するとともに、社外に公開します。

6. エコオフィス活動の推進

社内の環境保全体制及び書類の整備はもとより、社員一人ひとりが環境問題に対する意識を高めるよう、社員教育を継続的に実施し啓発活動を推進します。

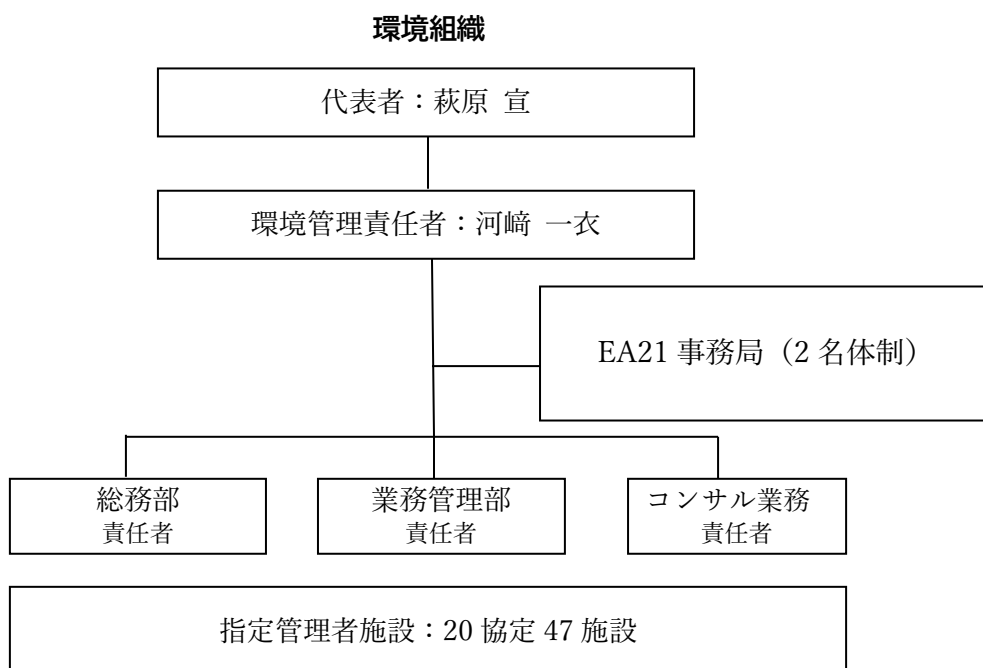
制 定 日 2015 年 1 月 1 日

改 定 日 2018 年 4 月 1 日

株式会社パブリックビジネスジャパン

代表取締役 萩原 宣

3. 実施体制



責任と権限

代表者	①環境経営の最高責任者
	②環境経営方針の制定、環境経営目標及び環境経営計画の承認
	③環境経営システムの評価、全般的な見直し
	④環境管理責任者の任命
	⑤EA21 を運用し維持するための経営資源を用意する
環境管理責任者	①環境経営システム全体の構築・運営の責任者
	②環境経営目標、及び環境経営計画の確認、指示
	③各部門の環境経営の指示及びフォロー
	④教育と訓練の総括
	⑤環境経営システム実績等の評価及び代表者への報告
EA21 事務局	①環境管理責任者の代行及び環境活動の全社的な推進
	②環境負荷の取りまとめ
	③環境文書発行・管理の実務
	④その他、EA21 事務全般
社 員 (各部門)	①環境経営方針、目標の理解
	②環境経営の理解と実施
	③環境法規制の遵守
	④緊急事態の予防策、対応策の実施
	⑤内部コミュニケーションの実施
	⑥改善の為の提案

4. 環境経営目標

(1)2023 年の環境経営目標は下記の表の通りです。

環境経営目標(2023 年度/事業年度 4 月～3 月)

項目	単位	基準値 (2022 年度)	2023 年度	2024 年度	2025 年度
			(1%削減)	(2%削減)	(3%削減)
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg- CO ₂	29,397	29,103	28,809	28,515
① 電気使用量削減	kWh	14,561	14,415	14,270	14,124
② ガソリン使用量削減	ℓ	10,335	10,232	10,128	10,025
2.廃棄物排出量削減	kg	293	290	287	284
3 紙購入重量削減	kg	2,130	2,109	2,087	2,066
4.水使用量の削減	m ³	91	90	89	88
5.グリーン購入の推進	%	80%	81%	82%	83%
6.管理運営施設への啓発推進	—	—	職員及び市民 利用者へ向け た啓発実施	職員及び市民 利用者へ向け た啓発実施	職員及び市民 利用者へ向け た啓発実施

※グリーン購入の推進項目については、各年度の目標を削減ではなく増加目標とする。

(注記)

- 1.電力の CO₂排出係数は「九州電力」調整後排出係数 0.371 (2019 年度版) を使用する。
- 2.廃棄物はそのほとんどが紙でありリサイクル化を実施している。
(ア)紙の購入量の削減が重要であり、紙の購入量を把握し削減することにより廃棄物を削減する。
- 3.水は少量の生活水のみを使用しており、削減目標が困難なため、節水活動を行う。
- 4.化学物質の使用はない。
- 5.本社使用の LPG に関しては使用が微量の為、目標とはしない。

(2) 環境経営目標の実績

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの環境経営目標の実績は、下表の通りです。

取組み期間の環境経営目標と実績・評価 (2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

項目	単位	基準値 (2022 年度)	目標	実績	達成状況
			2023 年 4 月～2024 年 3 月		達成率
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	29,397	29,103	31,650	92%
電気使用量削減	kWh	14,561	14,415	13,641	106%
ガソリン使用量削減	ℓ	10,335	10,232	11,453	89%
2. 廃棄物排出量削減	kg	293	290	311	93%
3 紙購入重量削減	kg	2,130	2,109	1,982	106%
4. 水使用量の削減	m ³	91	90	90	100%
5. グリーン購入の推進	%	80%	81%	83%	102%
6. 管理運営施設への啓発推進	—	—	職員及び市民利用者へ向けた啓発実施 全施設実施済		

【運営結果の評価・次年度の取り組み】

1. 二酸化炭素排出量は、目標達成率 92%（電気使用量 106%、ガソリン使用量 89%）。電気・ガソリン使用量については、他県・市外の新規受託施設に関する自治体等との協議・打ち合わせのための移動の増加、県内自治体のコンサルティング業務受託による車移動の増加などが主な原因と考えています。なお、全ての協議・打ち合わせ等については、リモートの活用を進めていますが、更に活用を推進し、各使用量削減に努めてまいります。

2. 廃棄物排出量は、目標達成率 93%。

1. 二酸化炭素排出量の欄に記載したとおり、新規受託施設及び他業務が増加していることから、備品や物品購入及び準備物の製作などにより廃棄物排出量も増加したと考えます。引き続き職員全員が意識して、ロスのない作業などを積極的に行ってまいります。

3. 紙購入重量削減は、目標達成率 106%。

目標達成の起因は、ペーパーレス化によるものです。休暇届申請だけでなく時間外申請等も社内連絡ツールであるサイボウズのワークフローを活用することで前年に比べてさらに削減できたと考えております。今後も更なる削減に繋がるよう取り組んでまいります。

4. 水使用量削減は、目標達成率 100%。

水使用量の削減については、本社社員の共通した認識のもと、例年どおり取り組み、目標を達成しておりますが、今後も社員の節水意識の向上に関する取り組みを行うなど、節水管理を徹底して行ってまいります。

5. グリーン購入の推進は、目標達成率 102%。

事務用品をグリーン商品の選択がしやすいサイトで購入することで、目標達成に繋がったと感じております。今後も、グリーン商品購入を推進してまいります。

6. 管理運営施設への啓発推進

今年度も内部監査を実施するなど、最新の環境レポートの常設を確認しております。また、新たな取り組みとして四半期ごとに SDGs の社内掲示ポスターを始め、管理運営する施設で実際に行っている具体的な取り組みや事例を各施設に周知することで各社員の意識の向上を図っています。

5. 環境経営計画とその評価・次年度の経営計画

基準： ○：できた △：改善の余地あり ×：できなかった

項目	推進 責任者	具体的な活動	評価
1.二酸化炭素排出量削減			
①電力使用量の削減  	松山	冷暖房設定温度の厳守。適切な室内温度設定の管理徹底（毎日）	○
		エアコンフィルターの清掃実施。 （夏 7月・8月・9月・冬 12月・1月・2月）	○
		OA 機器の退社時電源 OFF（毎日）	○
		輪転機稼働の集約化（一定時間でまとめて印刷する）	○
		不必要箇所の照明の消灯（毎日）・照明器具の定期清掃	○
		節電、空調温度適正化などの社内掲示物による啓発	○
		事務効率向上による残業時間の削減	○
②ガソリン使用量の削減  	中山	エコドライブの推進（エコドライブ 10 のすすめ）	○
		空気圧のチェック・渋滞するところを避ける	○
		外勤の際、出発前の移動行程の事前確認を徹底し、忘れ物・二度手間等の無駄を省く。（毎日）	○
		近場の移動は自転車を利用する。	○
		訪問先を地域別に把握し、外勤の効率化を図る。（毎日）	○
		リモート会議の実施	○
2.廃棄物排出量削減 	松山	分別の徹底（紙・プラスチック・ビン・缶・段ボール・燃やすごみ） 弁当容器は生ゴミとプラスチックに分けて処理する。	○
3.紙購入量削減 	黒川	裏紙再利用の推進	○
		再生紙の購入推進（随時）	○
		各管理運営施設の個別購入から本社一括購入へ変更	○
		ペーパーレス化の推進	○
4.水使用量削減 	橋本	節水 POP を貼り意識の向上（毎日）	○
		洗いものはまとめてする（毎日）	○
		蛇口等の水漏れ点検	○
		水拭き清掃はバケツ使用により無駄な流水を削減	○
5.グリーン商品の購入率向上 	黒川	エコマーク、グリーンマーク商品の購入推進（随時） 購入記録をとる。	○
6 管理運営施設への啓発推進 	松山	施設職員への環境意識向上(研修参加率の向上)	○
		市民利用者へ向けての環境意識向上(POP 掲示)	○
		エコイベントの企画立案による市民との協働活動の実施	○
		消費エネルギー削減に向けたエコオフィス意識の向上	○

6. 本社・指定管理施設での取り組み

SDGs の推進を通じて、環境保護の取組を行っております。

公共サービスの代行者である指定管理者制度のプロフェッショナル企業として、持続可能な開発目標（SDGs）を推進し、持続可能な社会の実現に努めております。



株式会社パブリックビジネスジャパン SDGs 宣言

当社は、公共サービスの代行者である指定管理者制度のプロフェッショナル企業として、持続可能な開発目標を推進し、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2020年4月1日

株式会社パブリックビジネスジャパン
代表取締役 萩原 宣

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

取組1 SDGsに関する掲示

四半期ごとにSDGsのターゲットを決め、そのターゲットに関連する管理施設の取り組みを全施設エントランス等へ掲示しております。

全施設へターゲットに関する取り組みを募ることで自施設だけでなく他施設の取り組みを知る機会にもなっております。



また、独自でSDGsに関する取り組みを紹介している施設もあります。もやいエンジョイクラブは、利用者の方が「参加者」「講師」「託児ボランティア」となって活動する場ですがこの世代間交流の中でもSDGsを広めております。



取組2 利用者参加型事業など環境を意識した取り組み

職員だけではなく利用者と一緒になって環境について考える機会を持つことは、地域全体の環境配慮へと繋がっていくものと考えます。下記のような「環境」をテーマにした企画事業を積極的に計画しております。

【各施設で実施している「環境」をテーマにした企画事業（一部）】

事業名	事業内容	SDGs
チャレンジごみ拾い大会 & 餅つき大会 	参加者皆様にて東部交流センター周辺のごみ拾いと餅つき大会を、戸島ふれあい広場と合同事業として開催しました。参加者には持ち帰り用の餅も振る舞われました。年齢を問わず参加して頂き、健康増進と地域美化を目的としています。	   
おゆずり交換会 本のリサイクル市 	子ども服やおもちゃの「おゆずり交換会」や「本のリサイクル市」を開催致しました。資源の有効活用＝リユースの推進	 

グリーンカーテン作り



省エネ効果だけでなく、育った食物の収穫も利用者の皆様と楽しみにしております。またプランターの土には、東部堆肥センターの牛糞堆肥を使用しております。



エコキャップ回収



施設内や利用者様より持参していただいたペットボトルのキャップを特定非営利活動法人等へ持ち込み、ワクチンへ変えて開発途上国の子どもたちへ届けられます。

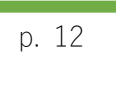
エコキャップ回収のほかエコ基金活動の一環で地域の婦人会・社協と合同で偶数月には廃品回収も実施しております。



エコ絵画コンクール



近隣小学校から夏休みを利用して環境に関する作品を募集し、美術委員長（外部）に審査をして頂き、優秀作品を館内掲示を行いました。館内掲示により地域の方々へもSDGs 学習・環境教育として発信できていると感じております。

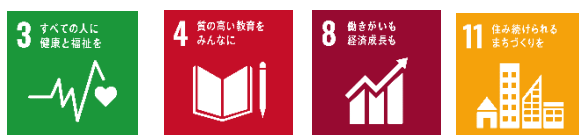


取組 4 クールビズ・ウォームビズ・節水・節電

例年同様、職員の夏場のクールビズや冬場のウォームビズの取り組みなどを通して、職員に対する環境負荷への意識向上を推進しております。
引き続き各施設でもエアコン電源部分への設定温度の表示・蛇口付近への節水喚起等、館内掲示POPなどで来館者・職員への環境意識向上を促しております。

取組 5 労働災害防止「標語」への取り組み

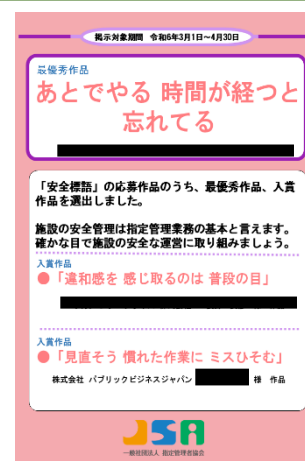
従事する全従業員が参加して労働災害防止大会を毎年1回、実施しております。安全な施設管理の基本は、施設に従事する職員および関係者、利用者の「安全」に対する意識付けが重要です。常に高い労働災害防止についての高い意識を持ち続ける事ができるかが、施設管理の安全について重要なポイントです。弊社では（一社）指定管理者協会が年間6回発行する全国統一の『安全啓発ポスター：事務所内掲示用』を事務所内及びバックヤード等に掲示してまいります。



・令和5年度労働災害防止標語 最優秀賞作品
「ハッとして 確認すれば ホットする」

最優秀賞 富合老人福祉センター 職員

・（一社）指定管理者協会第10回啓発ポスター安全標語
入賞作品1名 お達者文化会館 職員
「見直そう 慣れた作業に ミスひそむ」



取組 6 使用済みテープカートリッジ回収への取り組み

テブラのテープカートリッジを30個以上ためてアスクル回収サービスへ郵送すると、再び資源として活用されるという取り組みです。各施設より本社へ持ち込み、本社より一括してアスクルへ郵送しております。



取組 7 こども食堂・フードドライブ

食品ロスを防ぐとともに、一時的な生活上の困難に直面している世帯や子ども食堂等の無料または低額で食事を提供している地域福祉活動の支援として食料等の支給を行うことを目的としてフードドライブ事業を開始いたしました。弊社管理施設である“しらかわのほとり”では社会貢献・地域講演活動の一環で月に1回第一土曜日にこども食堂を開催しております。



7. 研修計画・実施記録

年4回の職員全体研修を計画

個人情報・接客接遇等を年4回に分けて研修を実施しました。

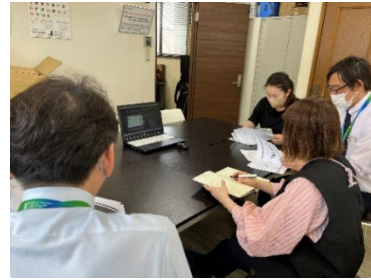
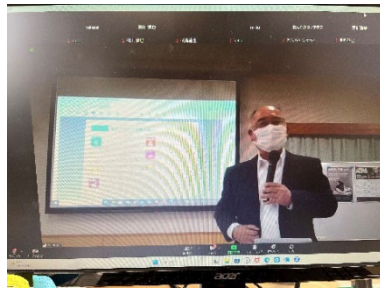
今年度は対面での研修を基本とし、配置基準の関係で参加が難しい職員についてはオンライン研修も可としました。ZOOM参加を設けることで基本的に全員の受講が可能となりました。



	令和5年度 全施設合同研修スケジュール			
	第1回	第2回	第4回	第3回
時期	5月	9月	12月	2月
時間	9:05～9:35	9:05～10:05	未定	9:05～9:35
テーマ	個人情報研修	ユニバーサルサービス研修	指定管理者制度 コンプライアンス研修	個人情報研修
担当者	柳川	外部専門講師	代表	柳川
時間	9:45～11:15	10:15～11:15		9:45～10:25
テーマ	接客接遇研修	危機管理研修 不審者・不審物対応		人権研修
担当者	外部専門講師	警察署		今村
時間	11:25～12:25	11:25～12:35		10:35～12:05
テーマ	エコアクション研修 SDGsの取り組み方	危機管理研修 防災・災害時対応		接客接遇研修
担当者	外部専門講師	消防署		外部専門講師
時間		12:45～12:55		12:15～12:35
テーマ		健康増進研修 三浦		健康増進研修
担当者		三浦		三浦
日程予定	5月22日(月)	9月25日(月)	12月未定	2月3週目予定
	5月24日(水)	9月26日(火)		

【エコアクション研修】

オフィス E コミュニケーション代表千葉透様をお迎えし、SDGs に関する研修を実施しました。SDGs に関するクイズでは、間違えた職員も多かったようで改めて理解を深めることができたと感じております。すでに取り組んでいる目標はより一層徹底し、今後取り組むべき目標をしっかりと日常に取り入れていきたいという声が多くありました。



【不審者対応・危機管理研修・ユニバーサル研修他】

熊本東警察署生活安全課の方に、不審者対応訓練、さすまたの使用方法について、研修を行っていただきました。

また、危機管理研修では、熊本市消防局東消防署から講師としてお出でいただき、防災や災害対応について研修を実施しました。

なお、ユニバーサル研修については、熊本市障がい者相談支援センターちゅうおう・あおぞらの講師による「聴覚障がい者」に関する研修を実施しています。



株式会社 パブリックビジネスジャパン 令和5年度 第2回施設合同研修 式次第

令和5年9月26日(火)
9時00分～13時00分
会場：東部交流センター

- 1) 開式
- 2) 代表挨拶
- 3) 9:05～10:05(60分)
ユニバーサル研修「聴覚障がいについて」
講師：熊本市障がい者相談支援センターちゅうおう
熊本市障がい者相談支援センターあおぞら
- 4) 10:15～11:15(60分)
危機管理研修「不審者・不審物対応」
講師：熊本県東警察署
- 5) 11:25～12:35(70分)
危機管理研修「防災・災害対応」
講師：熊本市消防局東消防署小山出張所
- 6) 12:40～12:50(10分)
健康増進研修「スッキリストレッチ」
講師：業務推進部 三浦浩志
- 7) 閉式

第3回施設合同研修予定
令和5年12月 日

研修報告書

研修名	第2回全施設合同研修	日付	R5年9月26日
施設名	益城町文化会館	名前	堀田・富高
問1、今回の研修は理解できましたか？印象に残った内容はどのようなことですか？ インボイス制度について理解できていない部分があり不安だったのですが、代表の分かりやすい説明で理解することができました。 会館全員で共有し、今後疑問点など出てきた場合はその都度対応しておこうと思います。			
問3、今回の研修で学んだことを踏まえ、これから障がい者に対しての接し方、いざというときの不審者への対応、地震・火事など災害が起きたときの施設での行動など記入をお願いします。（施設で共有し、まとめた報告書1枚の提出をお願いします。） 消防訓練は日ごろから行っていたのですが不審者対応はあまり考える機会がなかったので、今回考えた対応としては不審者とみられる事態があった際には早急にスタッフ、利用者に注意を促し外に出てもらう、または部屋の扉を施錠してもらうなどの対応を取りたいと思います。 また、できるだけ女性スタッフのみの出勤にならないようするのも大事だと思いました。			

研修お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

2023 年度は、コロナウイルス感染症に対する考え方も変化し、以前のような日常が戻り始めました。それだけに、企業活動も活発になり私の感覚では、コロナ禍前に戻ったような感覚になりました。そのような中で、コロナ禍に活用してきたリモート会議システム等に関しては、利便性の向上の観点から継続して活用しており、環境経営目標達成の手段としても有効であると考えます。しかしながら、2023 年度実績は、ガソリン使用料・廃棄物排出量の 2 項目において、目標達成が出来ませんでした。目標達成未達の原因分析は前述（P8）した通りです。しかしながら、売上増・職員数増・受託件数増のなかで、他の項目が目標達成できたことは、全職員の環境経営に対する意識付けが進んだ賜物であると感じています。2023 年度から 2025 年度までの環境経営目標については、新規管理運営施設の増加や福岡県内営業所の増設、また、本社所属社員の増員及び県外管理運営施設の受託に伴い、各種業務遂行に伴う社用車での移動等が増加したことを総合的に検証して数値設定を新たに行っています。（P7 参照）

2024 年以降の目標設定に対しても、売上・職員数の増加が確実な中での環境経営目標達成に向けて、新たな取り組みが必要になると考えます。関係社員には、新たな目標数値達成に向けて引き続き努力していくように指示いたしました。

2024 年度は、新たに熊本の水保全活動にも参画しながら、各種新規事業の立ち上げに伴い職員に負担を強いる業務遂行が求められることから、職員の負担を軽減できるように、DX 化も検討しながら企業経営と環境経営の両立を目指してまいります。

エコアクション 21 の活動で、企業成長と環境経営の両立へと繋げることを目指し、前年度同様新たな業務手法（リモート活用・イントラの活用）を通じて環境目標達成を目指します。また、この活動を通じて環境経営に対する職員の意識を高めることに、引き続き挑んでまいります。

項 目	変更の 必要性	指示事項
環境経営方針	無	—
環境経営目標・環境経営計画	無	—
環境経営システムの各要素	無	—
実施体制の見直し	無	—